

第36回関東障害者卓球選手権 東京大会開催要綱

- 【趣 旨】 関東地域の卓球を愛好する障害者が、卓球競技を通じ練習の成果を競うと共に相互の親睦と交流を図り、もって障害者卓球の振興に寄与する。
- 【主 催】 関東障害者卓球連盟
- 【主 管】 東京身体障害者卓球連盟
- 【後 援】 (予定)東京都、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、東京都卓球連盟
- 【協 賛】 (予定)綱タマス、日本卓球倶、綱ヤサカ、ヤマト卓球倶
- 【協 力】 (予定)東京家政大学卓球部、順天中学校高等学校卓球部

【日 時】 平成28年1月30日(土)～31日(日)

1月30日(土) 午前9時～午後6時 【個人戦のみ】

1月31日(日) 午前9時～午後6時 【団体戦のみ】

※なお、31日(日)の午前9時10分から代表者会議を行うので、団体戦出場の各チーム代表者及び関東障害者卓球連盟役員は必ず出席すること。

【場 所】 東京都障害者総合スポーツセンター
東京都北区十条台1-2-2 (TEL. 03-3907-5631)

【競技規則】 現行の日本卓球ルール及び本大会の申し合わせ事項による。

- 【参加資格】
1. 身体障害者手帳を所持する者。
 2. 視覚障害者で希望する者は、肢体立位の部に出場を認める。
 3. 知的障害者(療育手帳を所持する者)
 4. その他の障害者の出場については主催者で決定する。

【試合球】 主催者が用意する日本卓球協会公認球(プラスチック・白球)

- 【競技種目】
1. 個人戦
 - (1) 肢体立位の部(男・女)
 - (2) 車椅子の部(男・女)
 - (3) 聴覚言語の部(男・女)
 - (4) 知的障害の部(男・女)
 2. 団体戦
 - (1) 肢体立位の部(男女混成)
 - (2) 車椅子の部(男女混成)
 - (3) 聴覚言語の部(男女混成)
 - (4) 知的障害の部(男女混成)

- 【競技方法】
1. 個人戦
 - (1) 全ての試合は、11ポイント5ゲームスマッチで行う。
 - (2) トーナメント方式
 - (3) 3位決定戦は行わない。

2. 団体戦

- (1) 異なる障害の混成チームは認めない。発覚した場合は不戦敗とする。
(例：知的障害者が肢体立位の部に出場することはできない)
- (2) 全ての試合は11ポイント5ゲームスマッチで行う。
- (3) トーナメント方式、1ダブルス・2シングルス(D-S-S)
- (4) 1チームの人数は3～4名(男女問わず)とし、1名のみダブルスとシングルスの出場を兼ねることができる。なお、この場合シングルス出場の試合順序は限定しない。
- (5) 人数不足が生じた場合は棄権とする。(参考試合も行わない)
- (6) 3位決定戦は行わない。

【参加料】 1. 団体戦 1チーム 2,500円
2. 個人戦 1人 1,000円

【表彰】 1. 各種目の1位から3位までを表彰する。
2. よく健闘したと認められる者に「敢闘賞」を贈る。

【申込期限】 **平成27年11月16日(月)【必着】**

【申込方法】 申込期間11月9日(月)～11月16日(月)に①申込明細書 ②個人戦申込書 ③団体戦申込書 ④参加料を同封し、現金書留で下記あて郵送すること。
(FAX不可)

送付先 〒164-0001

東京都中野区中野3-26-13-303
東京身体障害者卓球連盟 宛

問合先 電話・FAX. 03-3384-0871

Eメール: tkta-hsc5656@nifty.com

(注1) 参加料を送金していない(不足を含む)場合、申込期限後はいかなることがあっても受け付けない。また、受付後の返金は一切行わない。

(注2) この大会に関する問合せは上記宛に行うこと。

- 【その他】
1. ゼッケンは参加者各自で用意すること。(縦20cm×横25cm)
ゼッケンを着用していない場合は出場を認めない。
 2. 平成27年9月1日から日卓協ユニフォームルールが変更になりました。白色系ウェアはデザインによっては使用禁止になる場合がありますので十分注意すること。
 3. 団体戦出場チームの選手は、ユニフォーム(上)を必ず統一すること。
 4. 昼食は各自で用意すること。
 5. 大会開催中の怪我や事故については、応急処置的対応はするが、主催者は一切責任を負わない。
 6. 本大会に関する個人情報(年齢、性別、所属)は慎重に取り扱いますが、プログラム掲載、結果記録・写真等について公表されることがあります。以上の取扱いは大会参加申込の際にご承諾をいただいたものとして対応します。